



2019年4月8日
株式会社オンワードホールディングス
檜山(大連)有限公司

マスカスタマイゼーション時代に対応する 縫製技術とデジタル技術を融合したスマートファクトリー 「檜山(大連)有限公司第2工場」開業



『KASHIYAMA the Smart Tailor』専用縫製工場が稼働

株式会社オンワードホールディングス(本社:東京都中央区 代表取締役社長:保元 道宣)の子会社である檜山(大連)有限公司(本社:中国・大連 総経理:高 江)は、マスカスタマイゼーション時代に対応する縫製技術とデジタル技術を融合した最新鋭のスマートファクトリー「檜山(大連)有限公司第2工場」を4月3日(水)に開業しましたのでお知らせいたします。

「檜山(大連)有限公司第2工場」は、『KASHIYAMA the Smart Tailor(カシヤマ ザ・スマートテーラー)』専用の縫製工場として、既存の第1工場に隣接し、スーツ10万着の年間生産能力を有しています。IoTやRPA(注)など最新機器・システムの導入による、受注から在庫管理、製品の移動や仕分け、資材の発注、輸送までの自動化の実現と、工場設立以来継承・蓄積された職人の縫製技術・ノウハウを融合することで、工場から直接、高品質なオーダーメイドスーツを短期間でお客様へ提供します。(注)RPA[Robotic Process Automation]

第2工場では、「Factory to Customer」をコンセプトの一つに掲げ、工場からお客様への直接発送だけにとどまらず、将来的には、来場者への各生産工程状況の公開や、注文されたお客様が自身のオーダー品の生産状況確認、一部の工場内の見学をWeb上からできる仕組みづくりも計画。一種のトレーサビリティと位置付け、そして新たなブランディングの手法として工場の「見える化」を推進していきます。また、地元の方々とのリアルタッチポイントとして工場内に「KASHIYAMA ガイドショップ」を併設し、多様なサービスを提供していきます。

さらに、CS(顧客満足度)のアップには、ES(従業員満足度)の向上が不可欠との観点から、アジアでは働く上で重要視される従業員食堂の一新や、完全空調設備の導入、新たな制服の採用など労働環境を整備し、縫製工場の財産である従業員が働きやすい職場づくりも進めています。

工場を自社で運営することにより、これまでグループで培ってきた生産、流通、販売のノウハウをデジタル技術と融合させ、革新的なスマートファクトリーの構築を目指してまいります。

■第2工場概要

名称	樅山(大連)有限公司第2工場
所在地	中国・大連経済技術開発区鉄山西路9-5号
建屋面積	1,960 m ²
建築面積	7,533 m ²
従業員数	約300名
生産能力	年間スーツ10万着
生産アイテム	『KASHIYAMA the Smart Tailor』メンズ・レディススーツ

■第2工場外観内観写真

